

## 北海道支部

## 形質細胞腫の1例

国療大牟田病院外科 岩永宏樹  
葉 倫建,堀内雅彦

左第6肋骨に発生し,血清総蛋白・Ig-Gの増加,尿中Bence-Jones蛋白陽性を伴った孤立性形質細胞腫に対し,カルボコン3mg/body・プレドニゾン90mg/body(4日間連続投与)による化学療法2クール施行し,著明な腫瘍の縮小,生化学的検査の改善を認めた.

## 75. 胸膜発生の Malignant Fibrous Histiocytomaの1例

熊本中央病院呼吸器科

安田紀之,井野辺義人  
土井國子,早坂真一,藤野 昇  
吉永 健,木山程莊,絹脇悦生  
同 病理部 大塚陽一郎  
症例は62歳男性.右側胸部痛を主訴に当院入院.胸部レ線にて右胸水貯留を認めた.胸腔穿刺液の細胞診で異型細胞が存在し,経皮的胸膜生検施行.MFHの診断を得た.

胸膜発生のMFHは頻度の低い悪性腫瘍であるが,今回我々はその一例を経験したので若干の文献考察を合わせて報告した.

## 76. 繊維性胸膜肥厚部に限局した悪性中皮腫の1手術例

佐世保市立総合病院内科

荒木 潤,東山康仁,増本英男  
須山尚史,浅井貞宏  
同 外科 南 寛行,窪田英佐雄  
長崎大第1病理 池野雄二

症例は68歳,男性.主訴は左側胸部痛.既往歴に左結核性胸膜炎があった.職歴で石綿を取り扱っていた.胸部X線では両肺野には,塵肺の影がみられ,左側の胸膜は著明な肥厚を示し,その一部に肺側へ突出する胸壁腫瘍が認められた.経皮生

検で中皮腫が疑われ,他に転移もないことから,胸壁腫瘍を胸壁と共に合併切除した.病理組織学的に混合型の悪性中皮腫と診断された.胸膜肥厚により限局したと思われる興味深い症例であった.

## 77. 悪性胸膜中皮腫5症例の検討

大分市医師会立アルメイダ病院  
胸部外科 岡田秀司

一万田充俊

同 呼吸器科 黒田芳信

今回我々は悪性胸膜中皮腫を5例経験し,限局型1例,びまん型3例,限局型とびまん型の移行型と考えられる多発結節型が1例であった.5例ともアスベスト暴露の既往はなかった.3例に手術を施行し,限局型の1例は術後1年2カ月たった現在生存中である.

## 北海道支部

## □第16回

## 日本肺癌学会北海道支部会

平成2年9月15日(土)

第1製薬ビル講堂

当番幹事 鈴木 明

(札幌医大第3内科)

## 1. 肺癌検出システムにおけるエネルギーサブトラクション法の検討

札幌医大第3内科 笹岡彰一  
高島博嗣,森 雅樹,名取 博  
浅川三男,鈴木 明  
南一条病院呼吸器内科

佐々木拓子,関根球一郎  
腫瘍型肺腺癌8例のCR単純像(CR像)およびエネルギーサブトラクション(ES)像を対象とし,肺腫瘍影検出システムを用いて肺癌陰影候補領域を各像より抽出した.同一症例の2画像から得られた肺癌陰影候補領域の検出順位および性状を検討した.肺癌陰影の検出順位はCR像よりES像の方が上位で,ES像では骨陰影によるFalse positiveの候補領域が減少したため,検出順位が向上したと考えられた.ES像の有用性について計量的に検討できた.

## 2. びまん性間質性陰影を認めNCC-ST439が診断に有用であった無腫瘍性乳癌(TO乳癌)の肺転移の1症例

北海道大第1内科 大江真司  
渡部直巳,須甲憲明,国兼浩嗣  
中島功雄,阿部庄作,川上義和  
転移性肺腫瘍は,胸部写真上様々な陰影を呈し他の肺疾患との鑑別上,問題になることがある.今回われわれは,胸部写真上間質性陰影を呈し,リンパ節